

令和6年度第4回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時

令和7年(2025年)3月12日(水)14時10分～15時15分

2 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

出席委員(5名)

田中 貴宏、今川 朱美、高田 由美、吉田 幸弘、塚本 梓織

欠席委員(2名)

角倉 英明、中村 圭

4 議事等

議事 西広島駅南口西地区第一種市街地再開発事業について(1回目会議)

報告 安芸消防署新築工事について(中間報告)

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者 2名

報道関係傍聴者 2社

7 会議資料

会議次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、議事資料、報告資料

8 会議要旨

(1) 議事 西広島駅南口西地区第一種市街地再開発事業について(1回目会議)

議事内容の説明を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア バスベイについて

- ・ストレートにしない場合、考え方を資料に示して説明してほしい。

イ 「ズッコケ三人組」について

- ・このエリアの重要なポイントであるため、デザインリソースとして可能な範囲で配慮してほしい。

ウ デザインの考え方について

- ・交通機能の特性など、まちの構造との関係からデザインをどうするか考えてほしい。

エ 道路附属物の色彩について

- ・平和大通りの路線色を意識してほしい。

オ パブリックスペースの在り方について

- ・駐輪場を利用する高校生が憩える場所を造ってほしい。
- ・屋内広場のにぎわいがまちににじみ出すよう、まちとの接続を意識して、スケール感や空間のしつらえ(足元のデザインなど)を検討してほしい。

カ 緑について

- ・まちの中に緑を増やしていくという視点を持って、検討してほしい。

(2) 報告 安芸消防署新築工事について（中間報告）

前回（令和6年4月23日開催）の会議で委員から頂いたご意見に対する対応について中間報告を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア 開かれた消防署というコンセプトについて

- ・外構で表現するなど、開かれたというデザインがなくなるといい。

イ 窓のサッシについて

- ・昼間だけでなく、夜間の見栄えを意識して、色を検討してほしい。

【会議概要】

○地井都市デザイン担当課長

（開会挨拶、配布資料確認、出席者紹介及び議事説明）

○田中座長

それでは、本日の議事「西広島駅南口西地区第一種市街地再開発事業について（1回目会議）」の説明をお願いします。

○日下市街地再開発担当課長

（市街地再開発事業の特殊性を説明）

○特定業務代行者（株式会社大林組 五島氏）

（議事「西広島駅南口西地区第一種市街地再開発事業について（1回目会議）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○今川委員

5ページにバスベイ整備と書いてあるが、このバスベイの切り込みについて、ぜひバス事業者の方とよく話をしてほしい。全国的に切り込みをなくす方向で整備しているところが多いと思う。なぜかという、バスの形状が昔とは違って、切り込みの形に沿って入りにくいということと、バスを傷つけないように少し離れたところに止まるため、高齢者や子供たちが、雨の日に水たまりに足を突っ込んでからでないとバスに乗れず、転倒も多い。ストレートで止まってそのまま出ること、渋滞はさほど起きず、引き寄せたほうがむしろ渋滞を引き起こすことがあるというのが、国交省の交通安全アドバイザー会議での結論ということになっているので、その辺りをよく検討して整備してほしい。

町並みへのアドバイスということで、ここは「ズッコケ三人組」の聖地であり、時々、読者が訪れている姿も見る。今回の開発で、全部なくしてしまうことになるので、その足跡ぐらひは何か残るようなデザインやツールを考えてもらえたらいいと思う。この地域の己斐小学校などは、総合学習のときに「ズッコケ三人組」のまちを知ろうと、展開して歩かれていると聞いたことがあるので、そういった跡がなくなることも残念なことだと思うので、ぜひお願いしたい。

○特定業務代行者（株式会社大林組 福原氏）

バスベイについて、御指摘の点はやはり我々も懸念があったため、バス事業者三者とバス協の方、道路交通局と打合せし、十分話をしているので、次回、そういった対応記録を参考資料としてお渡しができると思う。

御指摘のとおり、バスベイの切り込みは、ストレートがトレンドだと承知しているが、我々が調査した限りでは、バス停が一か所しかないため、やはりバスが多いときは三台ぐらい並んでしまう。これを解消しようと思うと、現在のトレンドではないが、やむなくバスベイを設置させてもらいたい。

「ズッコケ三人組」については、例えば、現場の仮囲いに「ズッコケ三人組」を使えないかなどと、近隣の方々からもお話をいろいろいただいている。「ズッコケ三人組」の著作権を持っているポプラ社に一応お伺いしたところ、仮囲いに掲載するには三百万円ぐらいかかるということだった。確かに発祥の地で、ぜひとも残したいと思っているが、それが工事期間中だけなのか、常設としてずっと設置できるのかというのは、今後、肖像権やお金のこともあるため、検討したいと思う。

○吉田委員

平和大通りの起点でもあり終点でもあるということが、広島市全体を見回したときの地形的なものとして、大きな意味があると思う。それが、アストラムラインの延伸によって、西広島駅に近いところでは広電が走っており、それをつなぐ形で西風新都のほうに延びていく、平和のつながりみたいなことがいえる。アストラムラインのデザインは、もともと平和を意識した色とデザインがなされている。そういうことを少し念頭に置いていただければいいと思う。

それから、交通機能の特性として、ここは東西南北全方向から集まってきている。南北にはJRがあり、東西には広電の市電とこれからできるアストラムライン、そういう意味では三つの路線の結節点になるので、非常に重要な地だと思う。西広島駅を起点にして、都心に向かう人と、逆に世界遺産の宮島のほうに向かう人がちょうどここで分かれ、帰りはそこで集合するというような立地関係だろうと思う。デザインのモチーフなどいろいろ考えていただいているが、その一つ前に、そうした意識をぜひデザインにもどこかの形で生かすといいと思う。

質問だが、錦鯉や赤鯉ではなくて、黒鯉なのか。スタジアムがあるため、広島駅のほうがカープの本拠地ということで、その赤鯉に対する黒鯉というのは、何かデザインのモチーフとして少し面白いなと思った。

○特定業務代行者（株式会社大林組 福原氏）

真っ赤よりは、黒鯉というのは少しデザインに取り入れやすいかなと思って考えている。

○今川委員

道路課が決めたと思うが、クスノキブラウンといった広島ゆかりの色について、この平和大通りについても、始点から終点まで同じ色の指定があったと思う。西広島駅までその規制がかかっているはずなので、時代によってどんどん変えるのではなく、手すりやガードレール、ポールなどは、そちらに合わせていくのが筋だと思う。

○地井都市デザイン担当課長

市として、道路附属物の色については、そういった指定をしている。ただ、強制力があるものではなく、国や県、管理者によっても異なってくるが、共通でやっていこうという話にしているため、踏まえてほしいと思う。

○今川委員

広島駅は変わってしまったので、ぜひ西広島駅は守りたいと思う。

高校生を代弁して言わせていただくが、現状の駐輪場を使っている高校生たちは、自転車を取るついでに、夕方コイプレイスでデートしている。今回、駐輪場が動くので、わざわざここまで立ち寄るといのがうまくいくのかなと考えている。形も変わり、屋内になるので、何か集いにくくなるかもしれない。駐輪場の屋上に、何か高校生の恋を育む場を造ってやることはできないか。将来の結婚率、出生率にも関わることなので、配慮をお願いしたい。

○関係者（株式会社東畑建築事務所 小林氏）

街区2の一階にある広場については、上に建物がある状態ではあるが、ピロティー状として、外側から自由にアクセスできるような広場を現時点では考えている。

街区1の二階にあるデッキ沿いの広場についても、完全な屋内ではなく、半屋外というふうに捉えていただければいいかなと思う。デッキから自由に入出入りしやすく、広い空間になると思うので、そういう意味では閉じられた空間ではないので、誰もがアクセスしやすい、憩いの場になるのではないかなと考えている。

駐輪場については、自転車都市づくり推進課と話をしており、現時点で屋上を何かを使うという意味はないが、今回の御意見を踏まえて、何か考えるかもしれない。

○今川委員

ピロティーの広場にするときには、アーバンスケールとヒューマンスケールを考えないと利用されないままになると、丹下健三氏が言っていたと思う。平和資料館のピロティーは、二階の階高の高さにしている。そうすると、屋外感が強まって、屋外のもりで使える。ただ、屋内と同じ天井高にすると、プライベート性や入りにくさなどが生まれてくるので、その辺りのスケール感や空間のしつらえというのをぜひ配慮してほしい。

○田中座長

それでは、皆様から御意見をいただきましたと思うので、まとめをさせていただく。

一つ目は、バスベイについて、次回以降、資料も御提示いただけるということなので、こういう考え方だということをお話いただけるとういかなと思った。

二つ目は、デザインのリソースのところ「ズッコケ三人組」について、このエリアの皆さんにとってもやはり一つ重要なポイントなのかなと思う。確かに振り返ってみると、小学校の頃、図書館で結構読んだ記憶があるなと思い、そういう思いが、特に地元の方は強いと思うので、可能な範囲で少し御配慮いただけるとういかなと思った。

三つ目は、デザインに辿り着く一個手前のデザイン上の大事なポイントが、何かというところをお考えいただけるとういかなというお話があったので、まちの構造との関係からこのデザインをどうするか、少しお考えいただけるとういかなと思った。

四つ目は、平和大通りの色彩について、ルールとの関係を少し意識していただけるとういかなというお話があった。

五つ目は、高校生の居場所ということから、パブリックスペースの在り方みたいなどころまでお話しいただいたかなと思う。私も少しここのにぎわいが、まちににじみ出すというような、まちとの接続みたいなどを少し意識していただけるとういかなと思う。すごくいい場所ができるだろうなというのは、実感としてはあるが、それがまちにも少し波及するようなことをデザイン上も意識してもらえるといいかなと思った。そうすると、やはり、足元のデザインが重要になってくると考えている。

最後に、私から一点、盆栽のまちとも関連するかなと思うが、昨今、こういう市街地再開発事業では、やはり緑を増やすというところが、一つデザイン上のポイントになると思う。これも可能な範囲だと思うが、少し緑をまちの中に増やしていくというような視点も持ってもらえるといいかなと思う。己斐のまち全体で、やはり緑のまちづくりをしていこうという流れもあると聞いているので、それを後押しするようなものになるとういかなと思っている。

議事については以上である。

○田中座長

それでは、本日の報告「安芸消防署新築工事について（中間報告）」の説明をお願いする。

○井上施設整備担当課長及び設計業務委託者（株式会社K構造研究所 中川氏）
（報告「安芸消防署新築工事について（中間報告）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○吉田委員

いずれの変更点も、許容できる範囲だと思う。

外壁色で、海田町役場を例に挙げられているが、海田町内の公共施設は、海田町役場のほかにいろいろあると思う。今後、建て替えがあったとき、その辺りのデザインは、統一していく方向なのか。

○竹厚施設課長

海田町役場との調和を図るということで、変更案をお示ししたが、今後、海田町で公立小学校の建て替えも予定されており、そこの調和も図っていききたいというのが海田町の御意向である。

○高田委員

カーテンウォールのところのガラスは、透けないものか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 中川氏）

透明のものである。

○高田委員

近隣の方は、例えば、透けないものでも駄目で、コンクリートを御希望されたのか。見えるということだけが嫌であれば、ほかにも方法はあったのかなと思った。これが駄目ということではない。

コンセプトが開かれた消防署ということで、すごくオープンな感じがいいなと思っていたので、コンクリートになったことで少し閉鎖的な感じがした。

○竹厚施設課長

地域の方を対象とした説明会での意見を踏まえると、隣接にお住まいの方が、見えるか見えないかという話ではなく、見られているような心理的な不安を払拭しておく必要があった。確かに、親しみのある開かれたイメージを出したいところではあるが、消防署は、数十年にわたって、24時間365日運営をしていく中で、地域の方の御意向というのも最大限配慮していきたいという観点で、変更させていただいた。

○高田委員

現場を見に行ったときに、現状は、金網のフェンスになっていて、割とお家の中が見えてしまうということが少し気になっていた。イメージパースに、塀みたいなものがあるが、前回では上がフェンスだったので、そこが変わった理由は何か。

○竹厚施設課長

外構については、周辺近隣の皆様にも、防音がいいのか、それとも通風など、どういったものを優先されるか、今、個別にお聞きしている状況である。今後、具体的な仕様について、検討していきたいと考えている。

○今川委員

近くに病院があったが、そこは病室があつて、入院できるのか。

○竹厚施設課長

クリニックであるため、入院施設はない。

○今川委員

では、防音という意味では、あまり厳しい配慮は求められていないのか。

○竹厚施設課長

そのとおりである。病院は二施設あり、いずれも診察室は二階にあるため、一階部分に対する音の懸念というのはいただいている。

○塚本委員

窓のサッシの色を黒にしたのは、外壁色をシルバーにしたところの境目をはっきりさせるためなのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 中川氏）

そうである。

○塚本委員

パースで見るからか、ここだけがすごく浮いて見えるので、好みなのかもしれないが、シルバーでもいいのかなと思った。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 中川氏）

まだ検討段階のため、参考にさせていただく。

○今川委員

24時間使われる施設なので、夜に明かりが漏れると思うが、そのときに、この黒い格子状の線があったほうがいいのか、目立たないほうがいいのかということ、CADなどで夜の見栄えを見て、よいと思われるほうを選んだほうがよいと思う。

○田中座長

それでは、皆様から御意見をいただけたと思うので、まとめをさせていただく。

基本的には、変更については致し方ないのかなというところが委員の皆様の総意と思う。その上で、幾つか御意見があった。

一つ目は、開かれたというコンセプトと今回の変更をどう折り合いをつけるかということ、少し考えていただけるといいかなと思った。これから外構でという話もあったので、外構で対応ということかと思われるが、「開かれた」というコンセプトがなくなるといいなというようなところがあったと思う。

二つ目は、窓のサッシについて、少しデザインを御検討いただけるという話だったので、御検討いただけるといいかなと思う。

いずれにしても、地元の海田町役場や地域の住民の方々からの要望ということで、それは尊重してしかるべきだろうというところがあるので、無理のない範囲でということになると思うが、今後のデザインの中で、御配慮いただけるといいかなと思う。

報告については以上である。